

情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会  
地上デジタル放送方式高度化作業班（第18回） 議事概要

1 日時

令和5年1月31日(火) 13:30~14:45

2 開催方法

WEB会議での開催

3 議題

- (1) 前回の議事概要の確認
- (2) 技術試験事務の成果報告について
- (3) 地上デジタル放送方式の高度化に関する海外動向について
- (4) その他

4 出席者（主任、主任代理を除き50音順、敬称略）

【構成員】大槻主任、松田主任代理、伊藤構成員、岩尾構成員、上園構成員、大久保構成員、大島構成員、大野構成員、岡野構成員、岡村構成員、高柳構成員、樽見構成員、土田構成員、豊嶋構成員、中井構成員、中原構成員、中丸構成員、中邨構成員、中村構成員、沼尻構成員、深澤構成員、藤井構成員、藤高構成員、村山構成員、森吉構成員、山口構成員、山本構成員

【説明者等】日本放送協会 水口氏、成清氏  
TBSテレビ 柴田氏  
三菱総合研究所 友部氏

【事務局】情報流通行政局 放送技術課

5 配付資料

- 資料デ高作18-1 地上デジタル放送方式高度化作業班（第17回）議事概要（案）  
資料デ高作18-2 令和4年度 総務省周波数ひっ迫対策技術試験事務「放送用周波数を有効活用する技術方策に関する調査検討」の実施状況について  
【放送サービス高度化推進協会】  
資料デ高作18-3 地上テレビ放送の海外動向【三菱総合研究所】  
参考資料 地上デジタル放送方式高度化作業班 構成員

6 議事概要

(1) 前回の議事概要の確認について

事務局より、前回の議事概要の確認について、資料デ高作18-1に基づき内容の確認が行われた。（質疑なし）

(2) 技術試験事務の成果報告について

中村構成員、岡村構成員、水口氏、成清氏及び柴田氏より、技術試験事務の検討状況について、資料デ高作 18-2 に基づき説明が行われた。この際、説明において、柴田氏から資料デ高作 18-2-2 の項番に誤りがある旨の発言があり、後日、事務局にて会議資料を差し替えることとなった。また、以下のとおり質疑応答が行われた。

(大槻主任) 新たな放送サービスの導入に伴う他の無線システムとの影響調査において、一部調査中としている項目があるが、データは取得済みであり解析中という理解でよいか。

(岡村構成員) 高度化方式から LTE への与干渉調査については、ご認識の通り解析中である。高度化方式から業務用無線への与干渉調査については現在、実験中である。

(大槻主任) 既存受信機への影響調査に関して、LDM 方式の場合、ガウス雑音のように扱えるので受信 C/N と C/N モニタ値の関係は線形になるようにも思うが、そうっていないのはどのような理由か。

(岡村構成員) C/N の評価方法が機種によって異なることが原因と考える。例えば、5617 本すべての OFDM キャリアで C/N を判定する機種やパイロット信号のみで判定する機種もある。LDM 方式についてはパイロット信号等に LL 階層の電力は加わっておらず、どのキャリアで C/N を判定するかは受信機の設計によって異なることから、C/N モニタ値は機種毎に異なる結果になったと考える。

(大槻主任) 同じメーカーでも機種によって C/N の評価方法が異なることもあり得るのか。

(岡村構成員) 評価方法は、機種毎に使用しているチップによって異なると想定する。

(3) 地上デジタル放送方式の高度化に関する海外動向について

友部氏より、地上デジタル放送方式の高度化に関する海外動向について、資料デ高作 18-3 に基づき説明が行われた。この際、説明において、資料デ高作 18-3 に誤植がある旨の発言があり、後日、事務局にて会議資料を差し替えることとなった。

(4) その他

事務局より、次回の作業班は 2 月 27 日を予定しており、ARIB で検討している技術的条件及び A-PAB で実施している技術試験事務のうち検討中であった事項について報告を行う予定である旨、説明が行われた。

(以上)